

弓削商船高等専門学校	開講年度	令和03年度(2021年度)	授業科目	国語				
科目基礎情報								
科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修					
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3					
開設学科	情報工学科	対象学年	1					
開設期	通年	週時間数	3					
教科書/教材	『書いて覚える漢字練習ノート』二訂版 京都書房、『国語表現ナビ』浜島書店、『新版六訂カラー版新国語便覧』第一学習社、『国語常識のトレーニング国語便覧ワークノート』第一学習社その他、プリント教材を配付する。							
担当教員	八原 瑠里							
到達目標								
論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。								
ルーブリック								
論理の整合性	理想的な到達レベルの目安 論理的な文章の構成や展開を的確にとらえることができる	標準的な到達レベルの目安 論理的な文章の構成や展開をある程度とらえることができる	未到達レベルの目安 論理的な文章の構成や展開を的確にとらえることができない					
思考の整理と表現	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法をある程度実践できる。	新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できない。					
常用漢字の読み書き	常用漢字の音訓を正しく使える 主な常用漢字が書ける	常用漢字の音訓をある程度正しく使える 主な常用漢字がある程度書ける	常用漢字の音訓を正しく使えない 主な常用漢字が書けない					
語彙の生活活用	類義語・対義語を思考や表現に活用できる	類義語・対義語を思考や表現にある程度活用できる	類義語・対義語を思考や表現に活用できない					
論理的思考	課題に応じ、根拠に基づいて議論できる	課題に応じ、ある程度根拠に基づいて議論できる	課題に応じ、根拠に基づいて議論できない					
文書作成	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる程度できる。	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができない。					
学科の到達目標項目との関係								
教養 D2								
教育方法等								
概要	漢字は、常用漢字を理解し、使用できるように書き込み式の問題集を使用する。毎時、確認テストを行う。 読解では、論理的な思考をすることができるように、作品中から事実と判断の根拠を見つけて自分の言葉で解説すること、根拠のない解答を述べないことを訓練する。文学作品でも、客観的な分析ができる学び、他者理解につなげる。 言語表現では、一文の校正からはじめ、レポートや報告書など、まとまった文書が書けるように、基礎的な言葉や文型の習得を目指す。							
授業の進め方・方法	国語表現：問題集は課題とする。授業では確認テストを行う。 漢字：漢字ノートは課題とする。授業では確認テストを行う。 国語便覧：常識を学ぶ。授業では確認テストを行う。 読解：テキストを読み、内容を読み解いていく。それぞれ、解説した内容を作文課題として課す。 言語表現：実際に文書を書くことで、語法や語彙、段落内構成、段落構成などを学び、実用的文書の書き方を学ぶ。							
注意点	辞書を必ず持つてること。忘れたり、電子辞書の電池が切れていた場合は減点する。 プリント整理のために、2穴のA4ファイルを3冊準備すること。（紙ファイルでよい。） 授業ノートは、枠目ノートかドットノートが望ましい。 試験に代わるレポートを課す場合がある。その課題が未提出の場合は、試験を受験しなかったものとして扱う。 成績に関わる課題については、その都度、連絡する。 漢字ノートの練習は、Bまたは2Bのシャープペンシルか鉛筆を用いること。							
実務経験のある教員による授業科目								
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画								
前期	1stQ	週 1週	授業内容 ガイダンス ノートの取り方① 漢字・文法 言語表現	週ごとの到達目標 論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。				
		週 2週	ノートの取り方② 漢字・文法 言語表現	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。				

		15週	期末試験	
		16週	試験解説	
後期	3rdQ	1週	漢字・文法 段落と章①	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		2週	漢字・文法 段落と章②	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		3週	漢字・文法 段落と章③	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		4週	漢字・文法 段落と章④	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		5週	漢字・文法 段落と章⑤	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		6週	漢字・文法 段落と章⑥	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		7週	漢字・文法 段落と章⑦	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		8週	中間試験	
後期	4thQ	9週	漢字・文法 レポート作成①	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		10週	漢字・文法 レポート作成②	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		11週	漢字・文法 レポート作成③	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		12週	漢字・文法 レポート作成④	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		13週	漢字・文法 レポート作成⑤	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		14週	漢字・文法 レポート作成⑥	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。
		15週	期末試験	
		16週	試験解説／成績確認	

評価割合

	試験またはレポート	提出物・小テスト	合計
総合評価割合	50	50	100
知識の基本的な理解	50	50	100